

令和元年度 事務事業外部評価（案）

静岡市上下水道事業経営協議会

令和2年10月16日

政策・施策名	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
		<ul style="list-style-type: none"> ・継手の離脱防止が挙げられていますが、工事中のうっかりミスで締め忘れが出ないように確実にお願いします。 ・<u>地震発生時に修繕などが必要となる数がシミュレーションできるのであれば、想定値を示すことでより説得力の高い説明ができると思います。</u> ・計画通り実施できたことは評価します。 <u>地震により水の供給ができないことがないように耐震性の向上に努めてください。</u> 	
	<p>「② 下水道管の耐震化」 «下水道維持課» [a 評価] 下水道管の耐震化について、重要な下水道管の耐震化を R1 計画どおり「6.0km」を実施した。 具体的な取組として、城北処理区及び高松処理区の下水道管の耐震化調査・設計及び工事を実施した。 また、重要な下水道管の耐震管率は R1 計画どおり「53.5%」の実績で、達成率は 100%となったため、「a」評価とした。</p>	<p>「② 下水道管の耐震化」に対する評価 [a 評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の補正予算は予測できないので、設計のストックを常に持ってください。 ・計画通りの実績であり、評価基準に従い、「a」評価とします。全管の<u>早期耐震化を目指して</u>、引き続き努力願います。 ・引き続き、国からの財政支援の獲得等、積極的な事業執行に努めていただきたい。 ・補正予算が得られ、計画値 4 km から 6.0 km に変更しても、計画通りに管路の耐震化が図られたことを評価する。 ・下水道管の耐震化も、予定より前倒しに工事を進め、計画どおりの実績となったことを評価します。 ・<u>国からの財政支援は毎年あるのですか。無ければ従来通りの計画で進めていけるのであれば、目標に向かって進んでください。</u> ・計画通り実施できたことは評価します。<u>汚水の流出防止などがないようさらなる耐震化を進めてください。</u> 	<p>[a 評価] 下水道管の耐震化については、計画どおり進捗している。 汚水流出防止などにつながるよう、早期の耐震化に努めること。</p>

政策・施策名	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>「③ 水道施設の耐震化」 «水道基盤整備課» [a 評価] 水道施設の耐震化について、R 1 計画どおり「9,500 m³」を実施した。 具体的な取組として、松富第 2 配水場（2,500 m³）、南安倍配水場（7,000 m³）の耐震化を実施した。 また、配水池の耐震化率は、R 1 計画どおり「41.0%」の実績で、達成率は 100%となったため、「a」評価とした。</p>	<p>「③ 水道施設の耐震化」に対する評価 [a 評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画通りの実績であり、評価基準に従い、「a」評価とします。 ・計画通りに耐震化が図られていることを評価する。 ・計画どおり事業が進んでいることを評価します。 <u>水道施設や配水池・浄水場の計画の見直しも進められているということですので、市民の生活を守りつつ、今の現状に即した計画の見直しを行い、限られた予算の中で、有効に事業が進められることを期待します。</u> ・<u>シミュレーションで災害リスクが減ることを数値的に示すことができれば、より説得力の高い説明になると思います。</u> ・計画通り実施できたことに評価します。 <u>巨大地震に備え、未補強施設の工事を早期に終了できるように努めてください。</u> 	<p>[a 評価]</p> <p>水道施設の耐震化については、計画どおりに進捗している。 巨大地震に備えた未補強施設の工事を早期に終了できるよう努めること。</p> <p>その他の意見</p> <p>水道施設や配水池・浄水場の計画の見直しについては、市民の生活を守りつつ、現状に即した計画の見直しを行い、限られた予算の中で、有効に事業が進められることを期待する。</p> <p>また、シミュレーションで災害リスクが減ることを数値的に示すことができれば、より説得力の高い説明になると思う。</p>

政策・施策名	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
<p>(2) 浸水対策</p>	<p>「① 雨水総合排水計画の更新」 ≪下水道計画課≫ [c 評価] 雨水総合排水計画の更新について、R1 計画「基本構想」に対し、「基本構想素案」となった。 具体的な取組として、雨水総合排水計画の更新に向けて、基本構想素案を取りまとめた。 また、成果指標の計画策定進捗率については R1 計画値を設定していないが、活動指標が「基本構想素案」の策定にとどまり、目標達成に向けて成果が出ていないため、「c」評価とした。 （「a」以外となった理由等） 当初パブリックコメントは基本計画策定時（令和4年度）に行うこととして計画を策定したが、平成30年度末に関係課と協議し、基本構想策定時にパブリックコメントを実施する方針に変更した。そこで令和元年度中のパブリックコメント実施を目指したが、委託にかかる期間が長く、年度内にパブリックコメントの実施ができず、基本構想素案の策定にとどまった。</p>	<p>「① 雨水総合排水計画の更新」に対する評価 [c 評価] b 評価 1 - 評価 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本構想時点でパブリックコメントを行うことにより、基本計画策定作業がスムーズに進むと思います。 ・実績の「基本構想素案」が、計画の「基本構想」に比べて、<u>定量的にどの程度のレベルか、評価基準に基づいては測れないため、「評価不能」とします。【一】</u> ・当初計画からの遅れはあるものの、市民の関心が高い事業であることから<u>基本構想時のパブリックコメントは有意義であり、素案の策定等一定の成果も見受けられるため。【b】</u> ・<u>各地で起こる近年の大雨浸水被害は他人ごとではない気がする。迅速な対応が求められる。</u>計画の更新を推進してほしい。 ・基本構想策定時にパブリックコメントを実施する方針に変更したことで、計画案がより確実なものとなることを期待します。 昨年、静岡市でも大雨による浸水被害が起きています。<u>令和元年度の遅れを、今年度以降取り戻し、速やかに、市民の不安を軽減できる計画を進めて頂くようお願いいたします。</u> ・地球温暖化、自然環境の変化で、近年気候が従来のセンスでは予測できない程大きく変化している。特にこの7月8月は雨が多い我が市である。雨水排水の重大事故は起きていないものの、喫緊の課題に向けて問題解決の努力を期待します。 ・<u>パブリックコメントの実施が遅れたとのことですが、その実施計画を見せてほしい。</u> 	<p>[c 評価] 雨水総合排水計画の更新については、目標達成に向けて成果が出ていない。 近年各地で大雨による浸水被害が発生していて、市民が安心・安全でいられるよう、令和元年度の遅れを取り戻し、速やかに市民の不安を軽減できる計画を進めるように努めること。 なお、素案策定等一定の成果も見受けられるため、「b」とする評価もあった。</p> <p>その他の意見 実績の「基本構想素案」が、計画の「基本構想」に比べて、どの程度のレベルであるかがわからないため、評価がしにくい。</p>

政策・施策名	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
		<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントを速やかに進め、計画の達成に向け、頑張って下さい。 ・現段階では確定的な評価ができる段階ではないが、数値基準に照らして評価しました。 ・新たな素案を策定し成果は出ていないものの今後の異常気象による災害対策に向けて進めている点を考え B よりの C にしました。 ・「基本構想」が「基本構想素案」にとどまったのは「委託にかかる期間が長く、年度内にパブリックコメントの実施ができなかったこと」が原因とのことですが、なぜ委託にかかる期間が長くなってしまったのかの説明が不足しているように思います。また、「基本構想」に対して「基本構想素案」がどの程度のレベルのものであるかがわからないため、a 評価ではないにしても b 評価とすべきか c 評価とすべきかが判断しにくいです。 ・<u>近年の異常気象が多い中で、排水計画は大切です。安心・安全でいられるよう早期の計画に努めてください。</u> 	

政策・施策名	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>「③ 雨水幹線・ポンプ場などの整備」 ≪下水道建設課≫ [b 評価]</p> <p>雨水幹線・ポンプ場などの整備について、対策完了地区数及び対策実施地区数を R1 計画「4 地区及び 6 地区」に対し、「1 地区及び 8 地区」実施した。</p> <p>具体的な取組として、対策完了地区は「折戸」地区の対策が完了した。しかし、「広野」地区は台風により施工箇所が被災したことや、「豊田二丁目・三丁目」及び「小鹿三丁目」地区は支障物件の移設調整に時間を要したことから、対策完了地区の実績値は 1 地区となった。対策実施地区数は、R1 からの国の浸水対策整備方針を踏まえ、次年度以降実施予定地区の中から関係機関との放流協議を速やかに行い「城北二丁目」及び「川岸町・渋川」の 2 地区を前倒し工事着手したため、計画値 6 地区に対して実績値は 8 地区となった。</p> <p>また、浸水対策率は R1 計画「57.7%」に対し、「46.2%」の実績で、達成率は 80.1%となったため、「b」評価とした。</p>	<p>「③ 雨水幹線・ポンプ場などの整備」に対する評価 [b 評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・累計ベースでの達成率 80.1%であり、評価基準に従い、「b」評価とします。 ・<u>次年度以降も自然災害の影響等による事業の遅れは想定されるため、引き続き、工期の設定、関係者との調整時には十分に留意いただきたい。</u> ・自然を相手に、又地理的難所があったりと、予測不能な出来事に苦勞されたにも関わらず、<u>前年度できなかった分を挽回していることは評価する。</u> 今後は、工事時期の見直しも含め、工事に支障が出ないように先を見通して進めていってほしい。 ・前年度に引き続き、予期せぬトラブルや他の地下埋設物管理者との調整により、工事が遅れているようですが、<u>前年度問題となっていた、住民の理解を得るための改善もされているようですし、工事を前倒しに着手するなど、柔軟な対応もされていることから、令和元年度単独ではなく、長いスパンでの評価も必要ではないかと思われる。</u> ・<u>想定を超える高潮被害のためであるが、工事が順調に進捗しなかった理由は理解できる。しかし、過去の経験値にこだわらず、新たな視点も加え、事業に臨んでもらいたい。</u> ・<u>豊田 2 丁目の工事は本当に長くかかっており通行に支障をきたしますが、まだやっていますね。何をしてるのかがわからず不安です。</u> 	<p>[b 評価]</p> <p>雨水幹線・ポンプ場などの整備については、計画どおり工事の完了ができなかった。</p> <p>次年度以降も自然災害の影響等による事業の遅れは想定されるため、引き続き、工期の設定、関係者との調整時には十分に留意いただきたい。</p> <p>また、前年度の課題の解消や次年度以降に実施予定の事業を前倒しで実施する柔軟な対応は評価できる。</p>

政策・施策名	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>（「a」以外となった理由等）</p> <p>対策完了が遅れた3地区は計画した年度に事業着手したが、以下の理由により完了が遅れた。</p> <p>「広野地区」</p> <p>R1完了を目指して工事を進めていたが、台風19号に伴う高潮により海岸部で施工中の吐口工事が被災し、復旧工事に日時を要した。</p> <p>「豊田二丁目・三丁目」及び「小鹿三丁目」</p> <p>施工箇所は住宅街で道路幅員が狭いうえ、地下埋設物も輻輳している道路下に、断面が大きな水路を埋設しなければならず、地下埋設物管理者（ガス）との支障物件の移設調整に不測の日時を要した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・遅延の理由で、想定される内容も多いように感じます。<u>過去の経験を生かし、工事が計画通り進む様、事前の準備が必要だと思います。</u> ・災害や他事業者との調整難航など不測の事象が工事遅延の要因とみられ、やむを得ないと考えるが、<u>今後の事業遂行で同じことが起こらないよう、特に他事業者との連絡、調整をスムーズにできるような体制を整える必要がある。</u>一方で、<u>次年度以降に実施予定の事業を前倒して実施する柔軟な対応は数値にこそ反映されていない</u>が評価できる。 ・単年度評価なのか累計評価なのか混乱しているように思います。自己評価に累計評価が入っているようですが、事務事業は単年度、施策は累計で評価するとすれば、この事務事業は「4地区完了の計画に対して実績は1地区の完了（6地区実施の計画に対して実績は8地区の実施）」という観点から評価すべきではないでしょうか。 ・工事個所が被災したことから工事時期を考慮して計画してください。 <p>また、関係事業者との協議を綿密にして遅延しないように努めてください。</p>	

政策・施策名	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
<p>2 管・施設を効率的に運用する。</p> <p>(1) 管・施設の老朽化対策</p>	<p>「② 水道管の更新」 «水道管路課» [a 評価]</p> <p>水道管の更新について、水道管（配水支管）の更新を R1 計画「7.7 km」に対し、「7.0 km」実施した。</p> <p>具体的な取組として、配水支管の更新調査・設計・工事を実施した。</p> <p>また、管路の更新率は R1 計画「0.34%」に対し、「0.32%」の実績で、達成率は 94.1%となったため、「a」評価とした。</p>	<p>「② 水道管の更新」に対する評価 [a 評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・累計ベースでの達成率 94.1%であり、評価基準に従い、「a」評価とします。 ・引き続き、<u>スピード感を持って進めていただきたい。</u> ・計画値設定時にはなかった工事の繰り越し分を含めても、達成率 94.1%の成果を上げていることを評価する。 ・計画どおり事業が進められているため、a 評価とします。 <u>漏水事故や濁水は市民の日常生活に大きな影響を与えるため、水道管の更新には、早急に取り組んで頂きたいと思ひます。</u> ・計画どおりお願いします ・交通量も非常に多く国道の車線も多く脇道への車線変更など難しい地区です。工事の方々は勿論ですが通行する市民の安全のためにも出来るだけ早く工事が進められることを願ひます。 ・単年度評価と累計評価が混在しています。単年度評価で行うのであれば、「7.7km の計画に対し実績は 7.0km であったため a 評価」とすべきではないでしょうか。 	<p>[a 評価]</p> <p>水道管の更新については、計画どおりに進捗している。</p> <p>漏水事故や濁水は市民の日常生活に大きな影響を与えるため、水道管の更新には、スピード感をもって進めていただきたい。</p>

政策・施策名	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>「③ 下水道管の改築」 «下水道維持課» [a 評価] 下水道管の改築について、R1 計画「3.0km」に対し、「2.6km」実施した。 具体的な取組として、城北処理区及び高松処理区の調査・設計及び改築工事を実施した。 また、管きょ 100 km 当たりの陥没箇所数は R1 計画「0.4 箇所以下」に対し、「0.32 箇所」の実績で、活動指標の実績値が計画値を下回るものの、目的達成に向けて、計画どおり成果が出ているため、総合的に勘案し「 a 」評価とした。</p>	<p>「③ 下水道管の改築」に対する評価 [a 評価] b 評価 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価基準に従い、「 a 」評価とします。 ・計画値 3.0 km に対し、実績値は 2.6 km で（ 8.7% ）である。<u>過去 4 年間の実績値が 22.7 km に対し、R 1 ～ R 4 年度の計画値は 17.6 km と短くなっている。過去の実績から見て、老朽化対策にもう少しスピードアップできるのではないか。</u> <p>【 b 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ計画どおりに事業が進んでいることから、 a 評価とします。 突然の<u>道路陥没事故から、円滑な市民生活や安全を守るため、引き続きよろしく願い致します。</u> ・地味な地下下水管の不十分な整備により、甚大な被害が生じないように努めて頂きたい。 <u>（他県の事故例をみても、直ぐ都市の機能マヒに繋がってしまうため）</u> ・<u>道路陥没が最近他所で報告されております。よろしく願いします。</u> ・成果指標の計画値が毎年同じで、向上するかたちになっていません。<u>重大な道路陥没事故の可能性あるかぎり、計画値は最終的にはゼロになるように設定すべきではないでしょうか。【 b 】</u> ・目標が達成できるように努力してください。 	<p>[a 評価] 下水道管の改築については、計画どおりに進捗している。 近年他自治体の道路陥没の事例があり、都市の機能マヒに直結する可能性があることから、円滑な市民生活や安全を守るため、引き続き事業を進めて行くこと。 なお、活動指標では計画値 3.0km に対し、実績値 2.6km であったことから、「 b 」とする評価もあった。</p> <p>その他の意見 第 3 次中期経営計画期間の実績(22.7km)に対し、第 4 次中期経営計画の計画値(17.6km)が短くなっている。過去の実績から見て、老朽化対策をもう少しスピードアップできるのではないか。</p>

政策・施策名	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>「④ 水道施設の更新」 «水道基盤整備課» [a 評価] 水道施設の更新について、R 1 計画どおり「6 箇所」を実施した。 具体的な取組として、「清水谷津浄水場非常用自家発電設備更新工事」外 5 件を完成させた。 また、更新実施率は R 1 計画どおり「5.9%」の実績で、達成率は 100%となったため、「a」評価とした。</p>	<p>「④ 水道施設の更新」に対する評価 [a 評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・達成率 100%であり、評価基準に従い、「a」評価とします。 ・計画通りの更新がなされている。 ・計画どおりに事業が進んでいることから、a 評価とします。 ・計画通り実施できたことに評価します。 <p><u>巨大地震に備え、未補強施設の工事を早期に終了できるように努めてください。</u></p>	<p>[a 評価]</p> <p>水道施設の更新については、計画どおりに進捗している。</p> <p>巨大地震に備え、未補強施設の工事を早期に終了できるように努めること。</p>
	<p>「⑤ 下水道施設の改築」 «下水道施設課» [s 評価]</p> <p>下水道施設の改築について、下水道施設の改築数を R1 計画「9 箇所」に対し、「10 箇所」実施した。 具体的な取組として、高松浄化センター 3・4 系返送汚泥ポンプ更新工事や愛染ポンプ場汚水沈砂池更新工事などを実施した。 また、下水道施設の改築実施率は R1 計画の「5.6%」に対し、「6.3%」の実績で、達成率は 112.5%となったため、「s」評価とした。</p>	<p>「⑤ 下水道施設の改築」に対する評価 [s 評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改築実施率の累計達成率が計画比 112.5%であり、評価基準に従い、「s」評価とします。 ・<u>引き続き、国からの財政支援の獲得等、積極的な事業執行に努めていただきたい。</u> ・計画以上の成果をあげていることを評価する。 ・事業を前倒しに行い、計画以上の成果が出ていることから、自己評価と同じ s 評価とします。 ・入札差金や国の財政支援で事業が円滑に進捗したが、入札差金の発生は見積段階に問題はなかったか再考されたい。 ・<u>下水道の処理機能停止は本当に困ります。</u>計画以上に実施されていることは評価できます。 	<p>[s 評価]</p> <p>下水道施設の改築については、計画を上回る実績であることを評価する。</p> <p>下水道の処理機能停止は市民生活に大きな影響を及ぼすため、引き続き、国からの財政支援の獲得等を活用して、積極的な事業執行に努めること。</p>

政策・施策名	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>（「a」以外となった理由等）</p> <p>令和元年度、国の財政支援が十分に得られたことや、入札差金が生じたことから、当初計画より前倒しで事業を実施した。今後も国の財政支援等がある場合には経営状況を見極めた上で活用し、下水道施設の老朽化対策を着実に進めていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・財政的なやり繰りが柔軟になされ、かつ事業の進捗を早める成果に繋がっている点で評価できる。 ・自己評価に累計評価が入っていますが、可能なものについては事務事業は単年度、施策は累計で評価するように区別したらどうでしょうか。 ・計画以上実施できたことに評価します。今後も経年劣化による故障がないよう努めてください。 	
	<p>「⑥ 水道管の漏水対策」</p> <p>「水道管路課」 [a 評価]</p> <p>水道管の漏水対策について、漏水調査を R1 計画どおり「1 年に 1 回調査する地区：8 地区、2 年に 1 回調査する地区：4 地区、3 年に 1 回調査する地区：2 地区の計 14 地区」実施した。</p> <p>具体的な取組として、漏水調査延長 1,565 km において 625 箇所の漏水を発見した。</p> <p>また、管路点検率は R1 計画どおり「60.1%」の実績で、達成率は 100% となったため、「a」評価とした。</p>	<p>「⑥ 水道管の漏水対策」に対する評価 [a 評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画通りの実績を上げており、評価基準に従い、「a」評価とします。 ・計画通りの対策がなされ、達成率 100% をあげていることを評価する。<u>管路点検率も前年度に比べ大幅に伸ばしている。</u> ・計画どおり事業が進められていることから、a 評価とします。 ・<u>廃虚の調査よろしく。</u> ・調査周期について、地域への周知は必要ないですか。<u>水漏れは断水原因になりますので、確実に実施して欲しい。</u> 	<p>[a 評価]</p> <p>水道管の漏水対策については、計画どおりに進捗している。</p> <p>また、管路点検率も前年度の 44.1% に比べ、60.1% と大幅に伸びている。</p> <p>水漏れは断水の原因となるため、確実な漏水対策を進めるよう努めること。</p>

政策・施策名	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
<p>3 環境への負荷を軽減する。</p> <p>(2) 温暖化対策</p>	<p>〔① 自然エネルギーの活用〕 ≪水道施設課≫ [b 評価]</p> <p>自然エネルギーの活用について、R1 計画どおり「20kW」を実施した。</p> <p>具体的な取組として、西奈配水場において 20kW の小水力発電装置を設置し、7 月から運転を開始した。</p> <p>また、再生可能エネルギー利用率は R1 計画どおり「0.16%」の実績で、達成率は 100%となった。次に温室効果ガス排出低減量（t-CO2/年換算）は R1 計画「103t」に対し、「76 t」の実績で、達成率は 73.7%となった。2 つの成果指標を勘案し、「b」評価とした。</p> <p>（「a」以外となった理由等）</p> <p>温室効果ガス排出低減量について、平成 31 年 2 月に計画を策定した後、土地賃貸借契約の相手方が西奈配水場に令和元年 6 月設置した小水力発電設備について、中部電力の配電線へ系統連系するための協議を行った結果、西奈配水場付近の配電状況が悪く、配電設備への悪影響を考慮し発電量の制限</p>	<p>〔① 自然エネルギーの活用〕に対する評価 [b 評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガス排出低減量の達成率が 73.7%であり、評価基準に従い、「b」評価とします。 ・<u>設備だけでなく、発電量も計画を達成できるよう、中部電力との協議、発電量の増加に向けた改善策の実施等、速やかな対応に努めていただきたい。</u> ・西奈配水場に小水力発電装置が設置され運転が開始されたことを評価する。自然エネルギーの活用及び再生可能エネルギーの利用率は計画通りの実績を上げているが、温室効果ガス排出低減量においては成果を上げられなかった。 ・設置（活動指標）については、20kW の省電力発電装置を設置する計画をし、実際に 20kW の発電装置を設置したので、実績値が 20kW となっている。実際には、11.38kW の発電量の実績しか得られなかったため、成果指標の実績が下がってしまったということでしょうか？ <p>説明を聞かないと、この表を見ただけではわかりにくいので、実際の状況がわかるような表記が必要かと思いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>地熱エネルギーの利用は考えてますか。</u> ・<u>再生可能エネルギーの発電事業においては受入側の配電設備の状況によっては想定通りの発電ができない可能性がある。状況によっては電力の自家使用や蓄電設備の設置を考える必要があるのではないか。</u> 	<p>[b 評価]</p> <p>自然エネルギーの活用については、計画をやや下回っている。</p> <p>設備の設置だけでなく、発電量も計画を達成できるよう、中部電力との協議、発電量の増加に向けた改善策の実施等、速やかな対応に努めること。また、温暖化防止のためにも、自然エネルギーの導入検討に努めること。</p> <p>その他の意見</p> <p>再生可能エネルギーの発電事業においては受入側の配電設備の状況によっては想定通りの発電ができない可能性がある。状況によっては電力の自家使用や蓄電設備の設置を考える必要があるのではないか。</p> <p>また、活動指標の R2 年度から R4 年度までの計画値がいずれも導入可能性検討となっているが、R4 年度にはひとまずの区切りをつけて R2 年度から検討してきた結果を総</p>

政策・施策名	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>を連系の条件とされていた。このことにより、当初計画していた発電電力量の実績が下回り(11.38 kW)、目標に掲げた低減量に至らなかった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小水力発電の実績が伸びるのは望ましい事と思います。しかし太陽光発電は装備のマイクロプラスチック問題、水質汚染などの問題もありという説も耳にしますが、将来の負の遺産処理などについても先の計画(処理予算など)も考慮されていることを望みます。 ・<u>活動指標の R2 年度から R4 年度までの計画値がいずれも導入可能性検討となっていますが、R4 年度にはひとまずの区切りをつけて R2 年度から検討してきた結果を総括し、その時点での方向性を示す必要があるのではないのでしょうか。</u> ・<u>温暖化防止のためにも、自然エネルギーを導入していただきたいと</u> <u>思います。</u> 	<p>括し、その時点での方向性を示す必要があるのではないかと。</p>

政策・施策名	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>「② 省エネルギー対策」 «水道総務課» [a 評価] 省エネルギー対策について、上下水道局庁舎等で使用するエネルギー使用量は R1 計画「213k ℓ」に対し、「205k ℓ」の実績であった。次に飲料水の年間生産に必要なエネルギー使用量は R1 計画「8,094k ℓ」に対し、「8,360k ℓ」の実績であった。次に下水の年間処理に必要なエネルギー使用量は R1 計画「12,893k ℓ」に対し、「12,638k ℓ」の実績だった。</p> <p>具体的な取組として、浄水処理及び汚水処理においては適正な施設管理を実施した。また上下水道局庁舎内では冷暖房機の温度調整や節電の啓発活動を実施した。</p> <p>また、成果指標である二酸化炭素排出低減量（平成 29 年度比）は、R1 計画「110.0t」に対し、「102.1 t」の実績で、達成率 92.8%となったため「a」評価とした。</p>	<p>「② 省エネルギー対策」に対する評価 [a 評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動指標で庁舎を分割したことは、<u>取り組みの効果、今後どこを重点とすべきかがわかって良い</u> ・二酸化炭素排出低減量の達成率が 92.8%であり、評価基準に従い、「a」評価とします。 ・<u>より積極的な対策として、ICT の活用によるペーパーレス等も検討してはいかがか。</u> ・<u>エネルギー使用量を 3 項目に分けたことでより分かりやすくなっている。</u>目標値を定めることで、日常の省エネ対策の意識化が図られている。 ・前項の自然エネルギーの活用がこの事業の成果にも繋がっていることから、省電力発電の問題点が早急に解決されることを期待します。 <p>また、<u>職員の皆さまの健康維持と作業効率の向上も考慮し、全体としてではなく、不要な場所のエネルギーを徹底的に削減した上で、必要な場所では適切にエネルギーを使い、効率的なエネルギー削減がされることを願います。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境への負荷を軽減するため、さらなる省エネルギー対策を行ってください。 	<p>[a 評価]</p> <p>省エネルギー対策については、計画どおりに進捗している。</p> <p>エネルギー使用量を 3 項目（庁舎使用・飲料水生産・下水処理）に分けることで、より分かりやすい指標となっている。</p> <p>その他の意見</p> <p>より積極的な対策として、ICT の活用によるペーパーレス等も検討してはいかがか。</p> <p>また、職員の健康維持と作業効率の向上も考慮し、エネルギーを一概に削減するのではなく、不要なエネルギーの削減と必要なエネルギーの適切な使用を行うことで、効率的なエネルギー削減がされることを期待する。</p>

政策・施策名	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
<p>5 信頼される経営を確立する。</p> <p>(2) 職員の技術習得</p>	<p>「① 各種研修の充実」 «水道総務課» [a 評価]</p> <p>各種研修の充実について、研修・資格取得計画に則った研修を R 1 計画どおり「実施」した。具体的な取組としては、通常の業務を一時離れて上下水道局外で行う「外部研修」と上下水道局内で実施する「内部研修」に職員が参加した。</p> <p>また、水道技術に関する資格取得度は R1 計画どおり「1.4 件/人」の実績で、達成率は 100%となった。次に水道部と下水道部両部の外部局研修時間は R1 計画どおり「8.5 時間/人」の実績で、達成率は 100%となった。次に水道部と下水道部両部の内部研修時間は R1 計画「9.0 時間/人」に対し、「9.2 時間/人」の実績で、達成率は 102%となった。以上のことから、「a」評価とした。</p>	<p>「① 各種研修の充実」に対する評価 [a 評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いずれの成果指標とも 100%を上回っており、「a」評価とします。 ・重要な課題であることから、実施時間はさることながら、<u>引き続き、研修内容の充実や職員の能動的な学習のきっかけづくり等に努めていただきたい。</u> ・各種研修が充実していると受け止め評価する。学んだことをそれぞれの場でいかに生かすか、<u>個々の技術力向上と集団としてのレベルアップを今後も期待する。</u> ・外部研修、内部研修、資格取得について、それぞれ計画どおり行われたということで、a 評価としました。<u>達成率については、人数や時間といった数字だけでなく、「何をしたか」が大事だと思うので、活動指標に成果指標の表を、効果の部分には、どんな研修を行い、実施目標に書かれていることが、どんな内容で、どの程度行われ、目標を達成できたかが示されている方が、より効果がわかりやすいと思いました。</u> ・<u>研修は事業運営に大切なことである。実施回数もさることながら、その中身、成果もあきらかになればと思います。</u> <u>(受講終了後のアンケート実施など)</u> ・活動指標の計画値がすべて「実施」となっていますが、研修を実施することは当然のことと考えられます。<u>成果指標にある「外部研修時間」と「内部研修時間」が活動指標となり、「水道技術に関する資格取得度」が成果指標となるのではないのでしょうか。</u> 	<p>[a 評価]</p> <p>各種研修の充実については、計画どおりに進捗している。</p> <p>引き続き、研修内容の充実や職員の能動的な学習のきっかけづくり等に努めること。</p> <p>また、研修の人数や時間だけでなく、研修の目的、内容、頻度、成果の面からの検証も必要ではないか。</p> <p>その他の意見</p> <p>達成率については、人数や時間といった数字だけでなく、「何をしたか」が大事だと思うので、活動指標に成果指標の表を、効果の部分には、どんな研修を行い、実施目標に書かれていることが、どんな内容で、どの程度行われ、目標を達成できたかが示されている方が、より効果がわかりやすいのではないか。</p> <p>また、成果指標にある「外部研修時間」と「内部研修時間」が活動指標となり、「水道技術に関する資格</p>

政策・施策名	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
		<p>また、<u>水道技術に関する資格にはどのような種類があり、それぞれがどのようなレベルのものであるのかがわからないと、資格取得度の1.4件が妥当であるのかが判断しにくい</u>です。</p> <p>・職員の資質向上は大切です。習得した資格、技術を仕事に生かせるようにして下さい。</p>	<p>取得度」が成果指標となるのではないかと。</p> <p>なお、水道技術に関する資格にはどのような種類があり、それぞれがどのようなレベルのものであるのかがわからないと、資格取得度の1.4件が妥当であるのかが判断しにくい。</p>

政策・施策名	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>「② 技術継承の仕組みづくり」 «水道総務課» [a 評価] 技術継承の仕組みづくりについて、R1 計画どおり「実施・検証」した。 具体的な取組として、エスナビの受講を推進した。さらに、R 2 年度採用のため水道技術職員採用試験を実施した。 また、エスナビ研修受講率は R1 計画どおり「100%」の実績で達成率は 100%となった。次に水道技術職員採用人数は R1 計画どおり「0 人」の実績となった。2 つの成果指標を勘案し、「a」評価とした。</p>	<p>「② 技術継承の仕組みづくり」に対する評価 [a 評価] b 評価 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>技術継承の仕組みについて、現状を簡単にご紹介いただきたい。</u> ・<u>いずれの成果指標とも 100%を上回っており、「a」評価とします。</u> ・<u>計画的に水道技術職員の採用を行い、安定した事業運営が行われるように技術継承の仕組みを作っていくほしい。</u> ・<u>計画どおり実施されたということで、a 評価としました。</u> エスナビは平成 30 年度に比べ、令和元年度は 1 0 0 %の達成率に上がったことを評価します。 <u>水道技術職員の採用人数については、計画 0 人、実績 0 人で、計画通りですが、それを s ～ c で評価することには少し違和感があります。</u> ・<u>技術継承のための古参社員の有効利用を進めてください。</u> ・<u>計画通り 0 人、という実績が a という自己評価には疑問が残る。</u> <p>【b】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>活動指標として「技術継承の仕組み」を毎年「実施・検証」することになっていますが、もう少し具体的に内容を説明していただかないと、行われていることを適切に外部評価することは難しいです。</u> ・<u>必要な技術・知識を継承し安定した事業運営につなげてください。</u> 	<p>[a 評価] 技術継承の仕組みづくりについては、計画どおりに進捗している。 必要な技術や知識を継承することに努めるとともに、計画的に水道技術職員の採用を行い、安定した事業運営が行われるよう、技術継承の仕組みを作っていくこと。 なお、水道技術職員の採用人数について、計画どおり 0 人という実績が a 評価とすることに疑問が残るとして「b」とする評価もあった。</p> <p>その他の意見 活動指標として「技術継承の仕組み」を毎年「実施・検証」することになっているが、もう少し具体的に内容を説明していただかないと、行われていることを適切に外部評価することは難しい。</p>

政策・施策名	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
<p>(3) 財政の健全化</p>	<p>「② 企業債残高の適正な管理」 «下水道総務課» [a 評価] 企業債残高の適正な管理について、水道事業の企業債借入額及び元金償還金を R 1 計画「24 億円及び 23 億円」に対し、「21 億円及び 23 億円」実施した。次に下水道事業の企業債借入額及び元金償還金を R1 計画「113 億円及び 109 億円」に対し、「96 億円及び 109 億円」となった。 具体的な取組として、借入と償還を計画的に行い、企業債残高が計画額を下回り、企業債への過度な依存とならないよう適正な管理を実施した。 また、水道事業の年度末における企業債残高は、R1 計画値「446 億円」に対し、「443 億円」の実績で、達成率は 100.7%となった。次に下水道事業の年度末における企業債残高は、R1 計画値「1,473 億円」に対し、「1,456 億円」の実績で、達成率は 101.2%となった。2 つの成果指標を勘案し、「 a 」評価とした。</p>	<p>「② 企業債残高の適正な管理」に対する評価 [a 評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業債残高は、計画を若干上回って減少させており、評価基準に従い、「 a 」と評価とします。 ・水道事業、下水道事業ともに計画値に対し 1 0 0 % 超えの達成率となり、適正な管理が行われていることを評価する。 ・水道、下水道共に、企業債残高の適正な管理が行われていることから、 a 評価としました。 ・具体的にどんなものかがわかりません。 ・将来の負担とならないよう <u>企業債への過度な依存にならないよう適正な管理をしてください。</u> 	<p>[a 評価] 企業債残高の適正な管理については、計画どおりに進捗している。 企業債への過度な依存にならないよう適正な管理に努めること。</p>

政策・施策名	内部評価（上下水道局の自己評価）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>「⑤ 収納率の向上」 「お客様サービス課」 [a 評価] 収納率の向上について、給水停止予告通知書発送を、R 1 計画「19,000 通」に対し、「19,085 通」実施した。次に受益者負担金一括納付の勧奨を、R 1 計画どおり「3 回」実施した。次に申告書提出督促実施を R 1 計画どおり「1 回」実施した。</p> <p>また、水道料金収納率は、R 1 計画「99.06%」に対し、「98.98%」の実績で、達成率は 99%となった。次に下水道使用料収納率は、R 1 計画「99.00%」に対し、「98.96%」の実績で、達成率は 99%となった。次に受益者負担金収納率は、R 1 計画「93.52%」に対し、「95.53%」の実績で、達成率は 102%となった。3 つの成果指標を勘案し、「a」評価とした。</p>	<p>「⑤ 収納率の向上」に対する評価 [a 評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3 つの成果指標ともに、ほぼ計画を達成しており、評価基準に従い、「a」評価とします。 ・新型コロナウイルス感染症の影響もあるため、<u>収納率の向上のためにも、お客さまに寄り添った対応に努めていただきたい。</u> ・どれも 1 0 0 %に届く達成率を上げていることを評価する。 ・高い収納率が維持されていることから、a 評価としました。 ・<u>経営安定のためにも未収金が少しでも減るよう努めてください。</u> 	<p>[a 評価]</p> <p>収納率の向上については、計画どおりに進捗している。</p> <p>経営安定のために未収金を減らすとともに、お客さまに寄り添った対応に努めること。</p>